

防犯

だより

vol.82

防犯専門官

山田 英明 やまだ ひであき

二七電話詐欺が発生しています、注意しましょう！

詐欺事件の発生

今年の7月に、市内では2件の二七電話詐欺被害が発生しました。

1件目は、7月2日午後5時頃、市内住宅の固定電話に、市役所職員を装う男から電話があり「介護保険料の返金があります」「還付の手続きを行うので、近くの銀行に行つて下さい」など巧みに誘われ、ATMで現金を振り込み、騙し取られるといういわゆる還付金詐欺でした。

2件目は、7月6日午前10時50分頃、市内住宅の固定電話に息子を名乗る男から「声が出ない」「財布と携帯を落とした」、会社に入れる300万円が必要などと電話があり、後刻自宅に現れた息子の上司の娘を名乗

る女に現金を渡し、騙し取られるといういわゆるオレオレ詐欺でした。

このような被害は氷山の一角でその陰には、被害に至らなかった数多くの未遂電話がありました。

二七電話詐欺の類型

- キャッシングカード詐欺盗
キャッシングカードをすり替える手口
- 預貯金詐欺
キャッシングカードを受け取る手口

このふたつの手口は、両方とも犯人側から被害確認を装った電話があつて、被害者の前に二七刑事などが現れるというところまでは似ているのですが、「キャッシングカードを入れた封筒をすり替えて盗る」と「キャッシングカードにハサミを入れて使えないと思わせて預かつていく」という違いがあります。最近の主流の手口になっています。

- 還付金詐欺
還付等に必要な手続きを装って、ATMを操作させ、口座に送金させる手口

最近では激減してきた手口ですが、再び発生しています。

○オレオレ詐欺
親族などを装って、架空の事件事故の示談金などを名目に金銭をだまし取る手口

親族の「何とかしてあげたい」という心情を逆手にとる許しがたい犯行で、最近増加傾向にあります。

○架空請求
メールなどで、「架空の未払い料金がある、今日中に支払わないと訴訟する」と脅し電子マネーなどで支払わせる手口

高齢者がコンビニなどで電子マネーを購入したところ、店員が不審に思い、被害を防いだケースもあります。



被害を防ぐには

①キャッシングカードや通帳を渡さない。

②暗証番号を教えない。
③公的機関の職員を名乗つたら、部署や氏名を確認する。

④身に覚えのない請求には応じない。

⑤相手が表示している連絡先には電話しない。

⑥一人で判断せず、必ず誰かに相談する。

二七電話詐欺の犯人は単独ではなくグループで犯行しています。そして、グループの得意パターンの文言を「どう言ったらより騙しやすいか」「犯行が長く発覚しないか」などと試行錯誤を重ねて、少しずつ変化させながら犯行を重ねています。

二七電話詐欺は発生当初からは期間が経過して減少傾向にあります。未だに被害は発生しています。二七電話詐欺の知識があつても、自分の身に降りかかれば、びっくりして騙されてしまう人が多いようです。

「電話でお金はすべて詐欺」ということを肝に銘じて騙されないように気を付けましょう。

コミュニティ無線をととしてのJアラート試験放送を実施します 問い合わせ 防災安全課(☎内線 519・549)

緊急時にJアラート(全国瞬時警報システム)の情報がコミュニティ無線で正常に放送できるかを確認するため、全国一斉に実施される試験放送を本市においても下記の日程のとおり実施します。皆さんの理解と協力をお願いします。

放送日時：令和3年10月6日(水) 午前11時

放送内容：「これは、Jアラートのテストです」を3回くりかえし放送し、「こちらは太宰府市です」を1回放送します。

